

総務文教常任委員会

中学校でも授業改善の成果期待

6年生と中学3年生の平成21年度全国学力・学習状況調査と県学力調査の分析結果は、学力状況では、小学生で国語・算数・社会・理科は20年度と比較して2.5～5.4ポイント正答率が上昇している。中学校では国語・数学・社会・理科・英語すべてにおいて0.8～3.1ポイント低下。学力向上に向け、各学校で組織的、統一的に取り組んでいく。

来年度は、新たに家庭学習のびびきの発行、町内統一の町独自の学力調査の実施などの計画が立てられている。

きめ細かな学力を把握し、指導ができるのではないかと期待している。

組織機構改革プロジェクトを設置

行財政改革の一環とし

て、組織機構改革計画を立てられ本格的に見直し検討が始まった。

第5次総合計画と3町共同電算業務構築に合せた組織、部局制などの検討が行なわれている。

「行政経営改革実行計画」の進捗状況

職員の適正化計画や保育園の民営化、費用弁償イベントなどの見直しがなされた。

受益者負担の取り組み歳入に見合った予算とすべきと強く要請した。

厚生常任委員会



▲特別健診結果説明会 運動

待機児童対策

12月1日現在6園で合計65人。

モニターレマンションの認可申請保育園、別府つくし保育園の30人定員増、南保育園の特定保育開始で待機児童の解消につながると考えられる。

総合福祉施設シーメイト、望山荘の運営

1年間の経費は20年度決算で1億4000万円、一方利用料等の収入は、3100万円。

ランニングコスト軽減、管理委託の一部見直しを行った。

コスト面だけでなく活用の在り方の議論を深めたい。

望山荘の利用者は少なくなっている。

施設への新たな投資をせず有効利用を考えるよう要請。

委員会報告 (調査・研究) 町の重要な課題

町の重要な課題

建設常任委員会

やつと焼却場跡地整備委員会動き出す

11月19日、委嘱状が交付され、西日本工業大学名誉教授北村氏が委員長、志免五町内会長蒲原氏が副委員長に選任され、調査研究が行なわれることとなった。

上下水道事業の経営

下水道関連排水管布設

替え工事4件のうち2件は完了。

水道単独による配水管布設替え工事は5件うち3件は完了。

板付ハイツ、同友会団地は給水量が少ないので加圧ポンプ流量調整弁設置設計を委託し、11月末完了。

7月24、26日の内水対策の現状

被害の大きかった東区町内会で、緊急にため池、側溝改修など16カ所を行い、新たに側溝布設工事を発注した。

来年度以降も計画的に整備を行うとのこと。しっかり議論を深めた。

医療系廃棄物・在宅医療廃棄物混入

広報で分別指導の掲載、確認できた病院に個別指



▲焼却場跡地

議会運営委員会

今回提案される「志免西小学校の分離・新設を求める」請願書の審査については、所管の総務文教常任委員会に付託することにした。

なお議員全員による「志免西小の分離新設・増築等調査特別委員会」で、8ヶ月間調査研究を行ってきた経緯もあり、総務文教委員会が、全員による特別委員会を審査する旨の申し出があった場合、全員協議会等で協議することとした。

次に志免町議会基本条例策定については、素案作成を行なっている。

福岡都市圏広域行政調査特別委員会

広域的な流域対策、堅坑槽を活かした観光ルートの研究などの意見が出された。取り組むべきテーマを協議をしていく。

志鋳跡地対策特別委員会

ボタ山開発については、今後自然型の開発を基本とする3町合意の方針を確認。また、委員会の名称変更の意見も出ており、引き続き検討することとした。

議会広報特別委員会

11月24日、自治会館にて「町村議会広報研修会」が開催され参加した。住民に読まれ、親しまれ、役に立つ議会広報づくりが求められていることなどを学んだ。



▲広報委員会研修